

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 227 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 7 例 (感染地域: インド 2 例、中国 2 例、メキシコ 2 例、パキスタン 1 例)、腸管出血性大腸菌感染症 212 例 (うち有症者 152 例、うち HUS 8 例、死亡なし) [感染地域: すべて国内 国内の多い感染地域: 宮城県 (92 例)*、愛知県 (12 例)、兵庫県 (12 例) *うち 90 例は仕出し弁当による食中毒に関連した集団発生 年齢群: 10 歳未満 (48 例)、10 代 (15 例)、20 代 (69 例)、30 代 (28 例)、40 代 (20 例)、50 代 (15 例)、60 代 (7 例)、70 歳以上 (10 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (88 例)、O157 VT2 (25 例)、O26 VT1 (16 例)、O157 VT1 (3 例)、O146 VT1・VT2 (2 例)、O1 VT2 (1 例)、O91 VT1 (1 例)、O103 VT1 (1 例)、O111 VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (74 例)、腸チフス 3 例 (感染地域: ネパール 1 例、スリランカ 1 例、ミャンマー 1 例)
- 4 類感染症: A 型肝炎 2 例 (感染地域: 静岡県 1 例、国外 (国不明) 1 例)、デング熱 1 例 (感染地域: ベトナム)、ライム病 1 例 (感染地域: 北海道)、レジオネラ症 11 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 20 代 1 例、60 代 6 例、70 代 2 例、80 代 2 例 感染地域: 愛知県 3 例、埼玉県 2 例 (うち 1 例温泉)、山形県 1 例、新潟県 1 例、国内 (都道府県不明) 3 例、中国 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 4 例 (腸管アメーバ症 3 例、腸管外アメーバ症 1 例) [感染地域: 国内 3 例、ブルキナファソ 1 例 感染経路: 経口 1 例、性的接触 (異性間および同性間) 1 例、不明 2 例]、ウイルス性肝炎 2 例 (B 型 感染経路: 性的接触 (同性間) 1 例、水平感染 1 例)、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例 (孤発性プリオン病古典型 1 例、遺伝性プリオン病家族性 1 例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (50 代)、後天性免疫不全症候群 12 例 (無症候 9 例、AIDS 2 例、その他 1 例) [感染地域: すべて国内 感染経路: すべて性的接触 (異性間 4 例、同性間 8 例)]、ジアルジア症 1 例 (感染地域: ネパール)、梅毒 10 例 (早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 3 例、晩期顕症 1 例、無症候 4 例)、破傷風 2 例 (60 代 1 例、70 代 1 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 例 (遺伝子型: すべて不明 菌検出検体: 胆汁 1 例、尿 2 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (5.71)、愛知県 (0.26)、静岡県 (0.14) が多い。
 小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 468 例の報告があり、報告数は第 33 週以降増加が続いている。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 72% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 37 週以降減少が続いている。都道府県別では高知県 (0.57)、長崎県 (0.34)、富山県 (0.31)、広島県 (0.31)、が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県 (2.00)、北海道 (1.73)、茨城県 (1.72)、埼玉県 (1.69) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県 (8.3)、大分県 (7.1)、島根県 (6.9)、鳥取県 (5.7)、が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県 (0.92)、愛媛県 (0.84)、新潟県 (0.72) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 37 週以降減少が続いている。都道府県別では宮城県 (3.0)、岩手県 (2.4)、沖縄県 (2.2) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県 (0.56)、福井県 (0.50)、岩手県 (0.44)、三重県 (0.44) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県 (0.17)、滋賀県 (0.16)、千葉県 (0.08)、愛媛県 (0.08)、東京都 (0.07) が多い。風しんの報告数は 6 例と微減した。都道府県別では千葉県、新潟県、富山県、静岡県、広島県、鹿児島県から各 1 例であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 31 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県 (1.46)、北海道 (1.38)、岩手県 (1.38)、山形県 (1.37) が多い。麻しんの報告数は減少し、12 都府県から 36 例の報告があった。都道府県別では福岡県 19 例、大阪府 3 例、宮城県、東京都、神奈川県、兵庫県から各 2 例、栃木県、埼玉県、千葉県、広島県、愛媛県、熊本県から各 1 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県 (0.80)、秋田県 (0.77)、高知県 (0.77) が多い。
 基幹定点報告疾患: マイクプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県 (2.7)、沖縄県 (1.9)、富山県 (1.8) が多い。成人麻しんの報告数は増加し、4 県から 4 例の報告があった。都道府県別では、岩手県、茨城県、神奈川県、愛媛県から各 1 例であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																						
愛媛県	.2	.1	1.0	3.9	.8	.9	.0	1.4	.1	.8	.0	.5	3.8	.5	.2							
近県	香川県	.0	1.1	.0	.3	2.0	.2	.1	.2	.6	.6	.2	.3	.4	.0							
	徳島県	.8	.5	1.3	.1	.1	.5	.6	.6	.6	.8	1.0	.4	.0	.0							
	高知県	.0	.6	.5	1.4	.4	.7	.2	.6	.6	.8	1.0	.4	.0	.0							
全国	.1	.2	.1	1.0	3.2	.4	.7	.1	.7	.0	.0	.6	.0	.3	.0	.6	.0	.1	.4	.0	.0	
北海道	.1	.1	1.7	1.4	.7	1.0	.2	.5	.0	.0	1.3	.0	.1	.3	.0	.3	.0	.0	.6	.1	.0	
東北	.0	.2	.1	1.0	2.1	.5	1.9	.3	.6	.0	1.1	.0	.4	.1	.4	.0	.0	.2	.7	.1	.0	
関東	.0	.1	.1	1.2	3.1	.3	.5	.1	.8	.0	.0	.5	.0	.3	.0	.9	.1	.2	.3	.1	.0	
甲信越北陸	.0	.0	.2	.9	2.7	.5	.4	.3	.6	.0	.0	.7	.4	.0	.2	.0	.0	.0	.3	.2	.0	
東海	.1	.1	.1	.7	3.0	.2	.4	.1	.7	.0	.0	.6	.2	.2	.0	.2	.0	.0	.5	.1	.0	
近畿	.2	.1	.8	3.3	.3	.3	.1	.7	.0	.0	.3	.0	.3	.0	.2	.0	.0	.1	.2	.0	.0	
中国四国	.0	.3	.2	.8	3.7	.4	.4	.1	.8	.0	.0	.4	.0	.3	1.0	.0	.0	.1	.3	.0	.0	
九州沖縄	.5	.3	.2	.7	4.3	.4	1.2	.1	.9	.0	.0	.4	.1	.5	.0	1.0	.1	.0	.2	.0	.0	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。(10月11日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第40週 (2007.10.1 ~ 10.7)

疾病名	二類 (2) 結核	三類感染症					四類感染症														五類感染症																	
		(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) 病 クロイツフェルト・ヤコブ	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌	
全 国	227	7	212	3		2						1							1	11			4	2		2	1	12	1				10	2		3		
第40週報告数	四 国	愛 媛 県	4		3																																	
		香 川 県																																				
		徳 島 県	2																																			
		高 知 県	3																																			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	5		2															1									1									
		東 北 道	14		102																	1		1													1	
		関 東 圏	49	4	26	1																4		1	1			1		8				6		2		
		甲信越北陸	14		5																		1	1														
		東 海 道	30	1	17	1			1					1									4	1						1					1			
		近 畿 圏	35	1	35	1			1														1							2	1							
中国四国	33		6																						1									1				
九州沖縄	47	1	19																							1							3	1				
週 推 移	全 国	40週	227	7	212	3		2					1							1	11		4	2		2	1	12	1				10	2		3		
		39週	185	8	105		2	1				1		2	3	2					1	18	1	8	1	1	2	2	16	1			8	2				
		38週	173	3	94	4		2						9	3					1	9			5	1		1	22	1			9	1		1			
		37週	241	12	142	2	1	2						5	2				3		13	2	8	5	3	3		9		1		8	1		1			
2007年累積数	全 国	全 国	10642	10	391	3647	37	15	44	121	13	25	4	3	98	72	55	3	1		2	38	10	486	19	596	176	178	6	112	79	1109	39	13	532	73	58	
		四 国	愛 媛 県	180		3	23				1		1												6	3	1	1	6	1	7			6				
			香 川 県	72		1	10				1				3										2	1	2	1	1	1	3			4				
			徳 島 県	104		1	17										1									3			1	3	1			1			1	
	高 知 県		92			6				1														1	5			5	1	5		1	3	1				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	359		6	66	1		9	6	10	1									1	3	21		17	5	5	2	6	16			10	4		1		
		東 北 道	659	2	19	362	3	3	3	12		5			40	1						2		34		34	9	10	3	6	32		2	23	6		4	
		関 東 圏	2650	5	190	979	14	7	8	38	3	8	1	3	9	38	1					24	5	146	5	257	48	57	2	34	26	553	23	4	206	22		30
		甲信越北陸	682		14	318	2	1	2	6						9	1					1		50	1	25	10	12	2	8	5	25	2		18	5		4
		東 海 道	1611		58	257	4		14	14		3				4	6	7				1	1	75	1	63	11	6		11	7	163	3	1	87	5		10
近 畿 圏		1848	3	66	743	12	3	3	21		5			10	17	12		1			9		69		133	45	46		23	7	199	9	2	45	7		6	
中国四国	1212		28	275			3	10		2	3		6	2	15	1				2		48		23	36	13	1	19	13	47	2	1	36	2		2		
九州沖縄	1621		10	647	1	1	2	14		1				20	7	20	2					1	43	12	44	12	29	1	12	9	74		3	107	22		1	

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。